

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.334



土地改良区体制強化事業の現地要請診断（日田市土地改良区・大縄平水路）

Contents

- 02 会長あいさつ
- 03 県幹部新年度あいさつ
 - ・県農林水産部長
 - ・県農村整備計画課長
 - ・県農村基盤整備課長
- 06 常務理事就任あいさつ
- 07 トピックス
 - ・第64回通常総会が開催される
 - ・全国水土里ネットが通常総会を開催
 - ・大分県土地改良区理事長会と
広瀬県知事との第10回懇談会を開催
- 10 会議・要請活動
 - ・「おおいた水土里ネット女性の会」第2回役員会並び
に「全国水土里ネット女性の会」令和3年度総会が
開催される
 - ・畑かん協議会の要請活動
 - ・令和3年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会
 - ・令和3年度 多面的機能支払 優良活動組織表彰式
- 12 県・連合会の職員配置
- 13 水土里ネット大分 各部課所長の紹介
- 15 新入職員の紹介
- 16 退職者の紹介
- 16 災害復旧に係る研修の終了
- 16 R3年度資格取得者
- 17 インフォメーション
 - ・土地改良法の一部改正について

6
2022
June



会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経 賢二

若葉の候、会員並びに関係者の皆様方におかれましては益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染は衰えることを知らず、拡大の一途をたどっております。会員の皆様におかれましても、それに伴う生活様式の激変に苦慮されておられるかと存じますが、引き続きの感染防止対策をお願いします。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により緊迫が続いており、一刻も早く平穏無事な世界となることを願うばかりですが、この事案によって食料自給率向上に改めて目が向けられるようになり、この議論の過程において、土地改良の果たす役割は益々大きなものになるのではないかとみています。

しかし、食料の生産基盤である農地の改良や農業水利施設の保全・更新に際しては、地元負担が伴います。大分県における地元負担割合は、広瀬知事のご配慮により平成26年に大きく軽減され、農業水利施設の負担割合が15%から5%へ、ため池の負担割合が5%から1%となっていることはご案内のとおりです。これについて昨年度、改良区の皆様から更なる軽減要望があり、土地改良区理事長会とともに昨年10月に広瀬知事に再度要望を行い、本年度より農業水利施設が3%に、防災重点ため池についてはゼロ%となりました。要望をくみ取っていただいた広瀬知事並びに大分県議会議員の皆様には厚く御礼申し上げる次第です。

次に、農地農業用施設に災害が発生した場合、近年、市町村職員が非常に苦慮しております。市町村に農業土木技術職員が少なく、全てを土地連にお願いできないかという話があがってきています。そこで本年度の機構改革において災害対策室を災害対策課に引き上げ、体制を強化いたしました。そして、いざ災害が起こった場合には、県の力を借りつつ、被害状況調査から測量、設計、査定対応まで全てを市町村と共に行える体制をこれからも整えてまいります。

一方で、土地改良区では、本年度からいよいよ新たな会計制度が本格開始されます。これまでも本会の会計指導員が土地改良区を訪問し、相談や指導の対応を行ってまいりましたが、本格開始されますと新たな課題が出てくるものと思われます。連合会といたしましては、引き続き会員支援や指導を行う体制を整え、課題解決に向けた取り組みを進めてまいります。

このような中で、今年度の農業農村整備事業関係予算は、令和3年度補正予算を含めてではありますが前年とほぼ同額の6,285億円が確保されました。これもひとえに二階全土連会長をはじめ、全国水土里ネット会長会議の進藤金日子、宮崎雅夫両顧問など多くの方々のお力添えのおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

本年度も、県をはじめ関係機関との連携を図り、国に対しての要請活動を行い、会員の皆さまの利益増進につながる事業活動を積極的に展開する所存でございます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。



佐藤農林水産部長のご挨拶

大分県農林水産部

部 長 佐 藤 章

大分県農林水産部長の佐藤でございます。本年度もよろしくお願いいたします。

水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農林水産業の振興に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の農業・農村は、担い手の減少や経済連携協定等の発効に伴うグローバル化の一層の進展に加え、長期にわたるコロナ禍における経済活動の停滞など、様々な課題に直面しています。

そうした中、本県においては、令和5年度に2,650億円を目標としている農林水産業による創出額が2年度は2,102億円にとどまったものの、3年連続して減となっていた農業産出額が園芸品目の拡大により、歯止めをかけることが出来ました。

本年度は、大分県農業総合戦略会議での「農業システム再生に向けた行動宣言」を踏まえ、園芸品目の生産拡大や肉用牛を中心とした畜産の振興を進め、生産者が未来に希望を持てる「農業の成長産業化」に取り組むとともに、コロナ禍による低迷からの脱却の足がかりとなる1年にしたいと考えています。

特に園芸品目においては、短期集中県域支援品目である、ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーの4品目に対して県の支援を重点化し、産地の拡大を図り「大分の顔となる園芸品目」を育成してまいります。

これらの取組においては、その礎となる農業農村整備の果たす役割がますます重要となっています。水田への園芸品目の導入が可能となる排水対策など、品目に応じたきめ細かな農地整備や、畑地帯では農道・かんがい施設の整備、大野川上流地域や駅館川地域における大型プロジェクトを引き続き推進することにより、「園芸産地づくり」を着実に進めてまいります。

また、防災・減災、国土強靱化に向けた取組では、防災重点農業用ため池などの改修や廃止を計画的に実施し、県民の安全・安心の確保を図ってまいります。

皆様には、本県農業の成長産業化に向け、これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、水土里ネット大分の益々のご発展と、会員皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



黒垣参事監兼農村整備計画課長のご挨拶

大分県農林水産部農村整備計画課

参事監兼課長 黒垣 圭 則

農林水産部参事監兼農村整備計画課長の黒垣です。本年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。
水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に格別のご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

さて、本県農業は、園芸産地拡大に伴い農業産出額が4年ぶりに増加に転じるなど、明るい話題もあるところですが、今年度は、大分県農業総合戦略会議でとりまとめた「農業システム再生に向けた行動宣言」に位置づけられた園芸振興等について、もれなく対策を講じるとともに、関係団体が一体となった取組を後押しすることとしています。

このような背景を踏まえ、農業農村整備事業では、県の農林水産業振興計画に基づき、次のことに取り組んでまいります。

まずは、園芸産地づくりの推進です。農地整備事業においては、地下かんがいシステム等の排水対策や導入品目に応じた徐レキ、客土、土層改良などの実施による水田畑地化を推進するとともに、ほ場の大区画化や用水路のパイプライン化による水管理の省力化、担い手への農地の集積・集約化を図ります。また、国営事業などを契機とした大規模園芸団地づくりを推進し、農業の成長産業化への取組を更に加速化してまいります。

併せて、防災・減災、国土強靱化対策にも取り組みます。特に防災重点農業用ため池の改修については、本年度より、地元負担をゼロにするとともに、農業水利施設の長寿命化対策等においても地元負担を軽減し、計画的かつ迅速な防災・減災対策を推進します。

さらに、農業用ダムやため池の事前放流及び田んぼダムの取組などによる流域治水やため池ハザードマップの整備など、ハード・ソフト両面から防災・減災対策に取り組んでまいります。

また、令和4年4月に土地改良法の一部改正が行われ、頻発化・激甚化する豪雨災害により二次被害が発生するおそれのあるため池等の農業用排水施設について、農業者の費用負担や同意を求めない急施の豪雨対策の実施や、農地中間管理機構関連事業での農業用排水路や暗渠排水等の整備が可能となりました。この外、土地改良事業団体連合会が改良区等から委託を受け土地改良事業の工事を行うことや、土地改良区が一般社団法人等へ組織変更できる仕組みが創設されました。

このような中、国の農業農村整備事業予算においては、令和3年度の補正予算と合わせ、6,285億円が確保され、また、県予算では155億円の規模となっており、この予算を農業農村の振興のため、しっかりと活用してまいりたいと考えております。今後も引き続き、当初予算拡大に向け、国へ要望を行うとともに、地元からの要望に答えることが出来るよう、本県の予算確保にも積極的に取り組んでまいりますので、会員皆様の益々のご支援、ご協力をお願いいたします。

最後に、会員皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



安東農村基盤整備課長のご挨拶

大分県農林水産部農村基盤整備課

課長 安東 正 浩

農村基盤整備課長の安東です。昨年度から引き続き、どうぞよろしくお願いします。

会員の皆様におかれましては、常日頃から本県の農業農村整備事業の推進に当たりまして、多大なるご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、本県の農業を取り巻く環境は、高齢化や人口減少による担い手の減少に加え、グローバル化が進展する中、県、市町村、土地改良区等農業団体が連携し、基盤整備を契機とした水田畑地化等による園芸品目の生産拡大を進めてきた結果、低迷していた農業産出額が4年ぶりに増加するなど、これまでの取り組みの成果が顕在化してきているところです。

このため、本県農業農村整備の推進に当たっては、今後、「競争力強化及び農家所得の向上に向けた農地整備」と「災害に強い農村づくりに向けた農地・農業水利施設の防災減災対策」の2つの柱で推進していきます。

まず、「農地整備」です。現在、地区ごとに基盤と営農の担当を配置し、「水田農業アクションプラン」に基づき、区画拡大、排水対策等の基盤整備に取り組んでいますが、今後は、各市町村が作成する「園芸産地づくり計画」と農地整備地区とを密接にリンクさせ、ハード・ソフト対策を集中的に実施し、大規模園芸産地づくりを進めてまいります。

また、導入する園芸品目に応じた整備水準を定めた「水田畑地化整備マニュアル」を令和3年度末に作成したことから、地区毎に土壌調査や地下水調査等を行い、それに基づく排水対策や土層改良等、きめ細かな畑地化整備を実施していきます。

さらに、昨今、畑地帯の担い手や参入企業から作業機械の大型化に伴い、効率的な集出荷等に向け、農道の拡幅や園地までのアクセス農道の整備の要望が上がっています。このため、まずは地域農業の実態を十分把握した上で、計画的かつ効率的な農道整備を検討してまいります。

2つ目は、「防災減災対策」です。防災重点農業用ため池に関して、概ね10年間を見据えたため池工事推進計画に基づき、耐震化や廃止等を集中的かつ計画的に実施していくこととしています。また、災害時、迅速な避難行動に繋げることができるよう、ハザードマップの作成や事前放流の取り組みとともに、ため池の洪水調節機能強化に向けて、洪水吐スリット化についても、今後、実証試験を行う予定です。

流域治水への取り組みの一つである田んぼダムについては、引き続き、流域治水プロジェクトに基づき、実証試験を行うとともに、田んぼダム用の柵の設置や畦畔の補強等について、国が新たな制度を創設したことから、農地整備実施地区においても積極的な導入を進めていきます。

こうした取り組みを着実に実施していくために必要となる農業農村整備事業予算については、引き続き、国に対して予算規模の拡大を要望するとともに、通常予算並びに国土強靱化5ヶ年加速化対策予算の確保に全力で取り組んでまいりますので、「水土里ネットおおいた」の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願いします。

最後に、「水土里ネットおおいた」の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



加藤常務理事 就任挨拶

大分県土地改良事業団体連合会

常務理事 加 藤 正 明

このたび、大分県土地改良事業団体連合会常務理事に就任しました加藤でございます。

会員並びに関係者の皆様方には、これからいろいろとお世話になると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

また、日頃より本会の運営と農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナの猛威が収まらない中、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した食料の安全保障の問題が大変クローズアップされています。これまで食料自給率を45%まで引き上げるという目標を挙げてはいたものの、現在37%まで落ち込んでいます。

この状況下で今年度の予算も年度内に成立し、もちろんコロナ対策と経済の再生に重点が置かれたものとなっていますが、そのような中でも農業農村整備事業の予算は昨年度の補正を含めると微増ではありますが増額となっています。コロナ対策、ウクライナ問題で厳しい予算編成を迫られる中で、このように農業農村整備事業の予算がほぼ要望通りに配分されたことには、大きく3つの要因が考えられます。

まず一つは、コロナに強い農山村の維持・活性化、またウクライナ侵攻による食料安全保障問題に対して、農業農村整備事業そのものが必要だと認知されたからだと思います。

二つ目が、皆さんの農業農村整備事業の推進を望む声が大きかったということです。昨年も義経会長を先頭に農林水産省や国会議員に対して要望活動をしてきましたが、その活動が全国的なものへと広がり、国にも届いたのです。

三つ目が、声を届ける力だと思います。二つ目と関連が深いのですが、皆さんの声を国に届ける手段、パイプが重要だということです。現在二人の参議院議員がおられますが、このお二人がご活躍されることによって政府もきちんと対応しなければならなくなるのです。

皆さんの声を届ける力を維持・発展させるためには、全国の土地改良関係者が総力を結集してまさに「戦う土地改良」のもとで、常に土地改良の代表として国会に送り込めるよう、全国の仲間と一枚岩となって戦う必要があります。

私も微力ではございますが、これまでの経験を活かし会員の皆様と一丸となって農業農村整備事業の推進に取り組んでいく所存でございますので、どうかご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、会員並びに関係者の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を心から祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

第64回通常総会が開催される

3月11日（金）、土地改良会館大会議室において第64回通常総会を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、委任状を活用して規模を縮小し実施された。来賓として広瀬勝貞大分県知事、参議院議員宮崎雅夫農林水産大臣政務官、宮崎敏行九州農政局長、佐藤章大分県農林水産部長らにご臨席いただいた。

総会に先立ち土地改良事業に功績のあった土地改良区会員個人11名、県関係個人6名、本会職員1名をそれぞれ表彰。受賞者を代表し会員個人表彰の佐田則昭安心院土地改良区理事長から謝辞をいただいた。

総会では、本会の義経会長が「令和4年度の国予算も昨年並みに確保されたことで、引き続き農業振興、集落維持、工事業者の育成

が図られると思う。土地改良の工事に当たっては地元負担が必要となるが、広瀬知事へ更なる軽減を要望しているところ。また、近年災害が頻発し、市町村が対応に苦慮している中で、連合会としても来年度は災害対策課を設置し支援体制を整えていく」とあいさつ。

来賓の広瀬知事、宮崎政務官、宮崎農政局長は「生産基盤の土台となる農業農村整備事業は、生産拡大や生産性向上など農業農村地域の振興に大きな役割を果たしてきた。土地改良振興大会や理事長会との懇談会で地元の声を伺い、ため池改修など積極的に整備推進していく」などと祝辞を述べた。

続いて総会の議事では、議長に杵築市土地改良区の真砂矩男理事長を選任し、提案した8つの議案が原案どおり承認された。



後列左より 三代透、穴見文六、山本文博、吉田直人、石井敏
前列左より 阿部隆広、後藤四郎、佐田則昭、宮崎雅夫、義経賢二、首藤明司 高野義郎 佐藤信一

【大分県土地改良功労者表彰】

1. 土地改良区会員の部

管内	氏名	所属	職名	年齢	経験年数
高田	木藤 信一	藤原溜池土地改良区	理事長	72歳	27年
杵築	阿部 隆広	富水溜池土地改良区	池守	72歳	33年
大分	佐藤 信一	初瀬井路土地改良区	事務長	62歳	43年
臼杵	首藤 明司	野津土地改良区	理事	70歳	12年
佐伯	高野 義郎	小田井堰土地改良区	事務長	72歳	12年
三重	衛藤 誠藏	明正土地改良区	理事長	77歳	17年
竹田	高橋 功	城原井路土地改良区	総代	80歳	11年
玖珠	矢方 保義	中村土地改良区	理事長	73歳	18年
日田	羽野 文義	女子畑土地改良区	理事	72歳	24年
中津	後藤 四郎	大井手堰土地改良区	理事	78歳	15年
宇佐	佐田 則昭	安心院土地改良区	理事長	84歳	18年

2. 県関係功労者

氏名	所属	職名	年齢	勤続年数
加藤 正明	豊肥振興局	局長	60歳	38年
山本 文博	農林水産部 工事技術管理室	室長	60歳	38年
吉田 直人	東部振興局 日出水利耕地事務所	所長	60歳	33年
小深田 浩一	豊肥振興局 豊後大野水利耕地事務所	所長	60歳	37年
穴見 文六	豊肥振興局 大野川上流開発事業事務所	所長	60歳	42年
赤嶺 謙二	豊肥振興局 豊後大野水利耕地事務所	課長補佐（総括）	59歳	41年

3. 本会職員表彰

氏名	所属	職名	年齢	勤続年数
三代 透	事業部 換地課	課長	59歳	40年

全国水土里ネットが通常総会を開催

3月24日（木）、全国水土里ネット（二階敏博会長）は東京都の全国都市会館において第64回通常総会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大により委任状を活用し規模を縮小して実施された。大分県からは義経会長、石井常務理事が出席した。

冒頭の二階会長挨拶では「今般の土地改良法改正は、我々連合会が事業を進める上で非常に重みのあるものと考えている。国会においては進藤、宮崎両会長会議顧問が車の両輪となって土地改良関係者の声を国政に届け活躍されている。『闘う土地改良』の意識を強

く持って両顧問をバックアップしていただきたい。」と述べた。

議事では、義経会長が議長に選任され、14の議案について議事進行を行い、すべて全会一致により承認された。



大分県土地改良区理事長会と広瀬県知事との第10回懇談会を開催

大分県土地改良区理事長会（会長小山一善・須ノ原土地改良区理事長）と水土里ネット大分は、例年1月に開催してきた県知事との懇談会を新型コロナウイルス感染症の影響から3月22日（火）に開催した。

県内各地の代表10名がそれぞれに地域と土地改良区を取り巻く情勢と課題等について県知事と意見交換を行った。要望として「老朽化の進む水路や大雨で災害の恐れがある防災重点農業用ため池の整備に関する地元負担の軽減」「幹線水路の維持管理に関して、コンクリート張りによる省力化支援」等を求

めた。広瀬県知事は「農業基盤の維持は大切だ。負担軽減へ対応していく」と答えた。



要望・意見に対し回答する広瀬知事



知事へ御礼を述べる義経会長



小山一善理事長会長より知事へ要望



会議・要請活動

●「おおいた水土里ネット女性の会」第2回役員会並びに「全国水土里ネット女性の会」令和3年度総会が開催される

おおいた水土里ネット女性の会（会長 提子土地改良区 指原洋子事務局長）は、1月12日（水）土地改良会館役員室において令和3年度第2回役員会を開催した。

役員会では、令和3年度の事業経過報告等、今年度の女性の会の活動経過について審議した。役員会終了後、義経会長より女性の会への力強いエール、土地改良を代表する進藤、宮崎両参議院議員の活動、支援についてお話しをいただいた。

また、2月10日（木）には、令和3年度全国水土里ネット女性の会総会がオンライン方式で行われた。おおいた水土里ネット女性の会からは、上田副会長（杵築市土地改良区）、尾仲副会長（荻柏原土地改良区）、片山会員

（土地連）の3名が参加した。

総会後は講演があり、「田畑、農村を国会へつなぐ～農業農村の振興に向けて～」と題



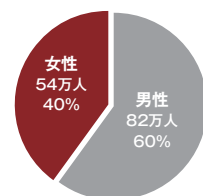
進藤参議による講演

した進藤金日子参議院議員の講演では、農政を取り巻く状況変化を踏まえ、16項目にわたる農業・農村を元気にする女性の力についてわかりやすい説明をいただき、女性参画の重要性を再認識し終了した。

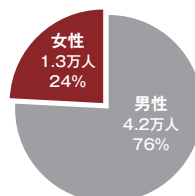
5. 農業就業人口に占める女性の割合

- 基幹的農業従事者のうち、女性は約4割で、農業の担い手として重要な役割。
- 新規就農者に占める女性の割合は24%。

基幹的農業従事者の男女割合
（令和2年）



新規就農者の男女割合
（令和元年）



●畑かん協議会の要請活動

大分県畑地かんがい施設対策推進協議会（8会員、会長小山一善・須ノ原土地改良区理事長）は1月14日（金）、3回目となる要請活動を佐藤県農林水産部長に行った。

要請内容は、パイプライン破裂などの突発事故や大型ハウス建設の際などに営農者との対応が円滑に進むよう、事前に新規就農者等に対して畑かん施設の特質や土地改良区の水管理等について十分説明する機会を作ることと、突発事故対応を円滑に行えるよう地域ストマネ事業等に市町が継続して取り組むための予算措置の2点であり、これら現場の声に対して、県からは、関係者が情報共有し各々

役割を果たす中で土地改良区にも対応願いたい、また、予算措置についても協力願いたい、との回答をいただいた。

今後とも当協議会では、県が推進する園芸振興を下支えする「水」を安定して供給・管理できるよう、現場の様々な課題の解決に向け一致協力して取り組んでいくこととしている。



令和3年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会

大分県土地改良区事務局連絡協議会は、令和3年度の事業計画に沿って1月28日（金）土地改良会館5階会議室において研修会を開催した。コロナウイルス感染防止の観点から会場での受講は市内近郊土地改良区と限定し、市外土地改良区関係者はオンラインでの研修となったが、県内各土地改良区より34名が参加した。研修内容は联合会顧問弁護士による滞納に関する内容を含んでおり、どの土地改良区も抱える問題とあって参加者は真剣

な面持ちで受講し、講義終了後は活発な質疑応答が行われた。



令和3年度 多面的機能支払 優良活動組織表彰式

大分県多面的機能支払推進協議会は、各振興局から推薦のあった活動組織を対象に、優良組織選考委員による現地調査を経て5つの優良活動組織を決定した。そして、令和4年3月23日（水）土地改良会館において、令和3年度の優良活動組織表彰を行った。

例年は、シンポジウムを開催し優良活動組織を表彰していたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、規模を縮小し表彰式のみ開催した。

この表彰を発信源とし県内活動組織の取組への意識向上による農村の活性化等を図っていききたい。

- 【最優秀賞】 小田原地域保全会（豊後高田市）
- 【優 秀 賞】 手野下地域環境保全組合（国東市）
- 【優 秀 賞】 出原環境保全組合（杵築市）
- 【優 秀 賞】 川井地区保全管理組合（佐伯市）
- 【優 秀 賞】 宮迫周辺地域資源保全推進協議会（豊後大野市）



後列左より 手野下組織江浦副代表、小田原組織橋本氏、黒垣県農村整備計画課課長、川井組織穴見氏、宮迫組織河野事務局長
前列左より 手野下組織佐木代表、洲野協議会副会長、小田原組織小林代表、義経協議会会長、松本優良組織選考委員、出原組織門間代表



義経会長より賞状を授与

部署名	職名	氏名
【農林水産部】	部長	佐藤 章
	審議監	小関 洋介
農村整備計画課	部参事監兼課長	黒垣 圭則
	農村整備計画監	小林 康二
	参事（総括）	都留 俊明
	課長補佐（総括）	吉武 史弥
	課長補佐（総括）	久住 真和
	課長補佐（総括）	諫元 伸宏
	主幹（総括）	坂本 晴生
	主幹	坂本 淳一
	主幹	木村 勝博
	主幹	隈田 慎一
農村基盤整備課	課長	安東 正浩
	参事（総括）	佐藤 広光
	課長補佐（総括）	甲斐崎一成
	課長補佐（総括）	衛藤 博司
大分県央飛行場 管理事務所	所長	大野 秀樹
工事技術管理室	室長	野上 輝義
	主幹（総括）	波多野勝幸
【東京事務所】	参事	法野裕二郎
【土木建築部】		
工事検査室	参事（総括）	本田 豊治
	主幹	有延 滋
【東部振興局】	局長	高野 信一
	次長	島崎 和夫
農林基盤部	部長	河津啓一郎
	課長補佐（総括）	小山 長則
	課長補佐（総括）	渡邊 敬介
日出水利耕地 事務所	所長	河野 哲也
	課長補佐（総括）	濱田 和樹
	課長補佐（総括）	亀井 正彦
	課長補佐（総括）	灘波 悦史
	主幹（総括）	工藤 博昭
【中部振興局】	局長	森 優子
	次長	和田 隆志
農林基盤部	部長	小野 辰三
	課長補佐（総括）	工藤 政彦
	課長補佐（総括）	麻生 春治
	課長補佐（総括）	牧 徹
	主幹（総括）	池上 正人
	主幹	御領園 進
	主幹	平野 雄志

部署名	職名	氏名
【南部振興局】	局長	田北 正宏
	次長	櫻井 仁
農林基盤部	部長	本田 真一
	課長補佐（総括）	田中 賢治
	主幹（総括）	木田 俊吉
【豊肥振興局】	局長	淵野 勇
	次長	中津留俊典
農林基盤部	部長	辻野 泰弘
	課長補佐（総括）	宮成 俊治
	課長補佐（総括）	中野 篤史
	主幹（総括）	甲斐 和広
豊後大野水利 耕地事務所	所長	坂元 大輔
	課長補佐（総括）	菅原 真美
	主幹（総括）	佐保 貴之
	主幹（総括）	伊藤 裕司
大野川上流開発 事業事務所	所長	森迫 光晴
	課長補佐（総括）	田北 茂広
	主幹（総括）	佐藤 洋祐
	主幹（総括）	工藤 和
	主幹（総括）	佐藤 正幸
	主幹	石原 大輔
【西部振興局】	局長	河野 圭史
	次長	今井 睦
農林基盤部	部長	末廣 理
	課長補佐（総括）	高倉 義治
	主幹（総括）	野上 康則
	主幹（総括）	河野 幸治
	主幹	小崎 智
【北部振興局】	局長	工藤 哲史
	次長	平山 高広
農林基盤部	部長	永野 和範
	課長補佐（総括）	瀬川 幸弘
	課長補佐（総括）	辛島 光彦
	主幹（総括）	後藤 正徳
	主幹（総括）	黒岩 聡
	主幹	小野 貴史
	主幹	谷 博文
	主幹	園田 耕司
	主幹	石坂 嘉久

部署名	職名	氏名
総務部	参与	伊藤 信二
	総務部長	森下 健二
総務課	課長	鶴成 厳
	課長補佐	大石慎一郎
総務係	技師	藤澤 匠真
	技師	中村 貴輝
経理係	主査	首藤 英介
	主任	吉岡 桂介
会員支援課	課長	佐藤 公博
	課長補佐	工藤 寛嗣
会員支援係	主任	十塚 弘一
	主任	江田 敏寿
	技術員	柴田 享兵
情報管理課	課長	秋吉 克則
	課長補佐	佐々木光治
情報管理係	主任	福田 達
	技師	宇都宮弘樹
水土里情報係	技師	山田 翔太
	技師補	片山 愛理
事業部	部長	松木 一宏
農村整備計画課	課長	中城 英利
	課長補佐	阿南 貴章
企画調査係	主幹	岡部 真一
	主任	西川 真

部署名	職名	氏名
農村整備係	主任	宇高 亮
	主任	古庄 巧
	技師	束野 克実
	技術員	有永 望叶
災害対策課	課長	河野 直樹
	課長補佐	板井 正信
技術支援係	技師	幡手 貴一
調査測量係	主任	林 智光
	技師	藤原 大輔
	技術員	児玉 堅
換地課	課長	田部 文敏
換地係	主幹	工藤 大介
	主任	増岡 樹信
	技師	水澤 陵甫
	技師	前田 侑希
（北部国営対策班）	主幹	佐藤 祐樹
	主任	清家 大志
測量課	課長	大塚 景介
	課長補佐	重光 宏昌
調査測量係	主幹	藤田 義昭
	技師	福田 良貴
	技師	首藤 宏志
	技術員	甲斐 颯人
	技術員	白須 大和

部署名	職名	氏名
中部事務所	所長	馬場啓四郎
調査設計課	課長	梅本 隆男
調査設計係	主幹	安部 俊郎
	技術員	吉田 蒼
南部事務所	所長	河野 浩一
	次長	麻生 賢正
調査設計課	課長	阿南圭一郎
調査設計係	主幹	麻生 晶広
	主任	山本 勇樹
	技師	平野 祐輝
	技師	重藤 樹弥
	技師補	藤縄 愛大
西部事務所	所長	清水 寿和
調査設計課	課長	宮尾 文康
調査設計係	主任	赤嶺 孝輔
	技師	吉田 聖
北部事務所	所長	清末 功一
	次長	伊東 哲士
調査設計課	課長	河野 智弘
調査設計係	主幹	小川 剛
	主査	松本 浩一
	主任	塗木 一輝
	技師	東 兵樺
	技師	松田 伸也
	技師	高山 遼大

水土里ネット大分 各部課所長の紹介



● 参与 伊藤 信二

農業農村の維持・振興を基盤面から下支えする土地改良に関わる会員の皆さまへの支援強化と事業の着実な推進に向け、一層努力してまいりますので引き続きよろしくお願い致します。



● 総務部 部長 森下 健二

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、土地改良法の一部改正など様々な状況変化に迅速な対策を講じつつ、会運営の健全化に努めて参ります。また、引き続き会員支援課・情報管理課業務の充実化を図るとともに、事業部との連携により会一体となって会員の皆様のご要望に沿えるように努力して参ります。



● 事業部 部長 松木 一宏

今年度は、災害対策課も新設され、会員の皆様方には、災害研修等の更なる充実を図って行きたいと考えています。また、土地改良法の改正も行われることから、本会職員の技術力の向上を図るとともに、新技術についても開発検討を行い、会員の皆様方のご要望に沿えるよう一層努力していく所存です。本年度もよろしくお願い致します。



● 総務課 課長 鶴成 巖

総務課では、総務全般の業務に加え、総会や理事会、各種協議会等の会議を行っております。昨年度も前年度同様に、コロナ禍により一部の行事においては、予定通り実施できませんでした。コロナの状況はまだ見通せませんが、引き続き職員9名で会員皆様方の要望に沿えるよう努力して参ります。



● 会員支援課 課長 佐藤 公博

このたびの人事異動により会員支援課長を拝命しました。会員支援課では課員7名で、会員の皆様による各種相談への対応や体制強化事業、多面的機能支払などの各種補助事業に取り組んで参ります。また、今年度より本格始動します複式簿記等や法改正に伴う諸問題へ迅速な対応を行いながら会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



● 情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課では、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（水土里研修、問い合わせ保守等）の業務を行っております。

併せて、県下60会員が加盟する「大分県水土里情報センター推進協議会事務局」も担っており、職員7名で皆様のご要望に沿えるよう一層努力して参ります。



●農村整備計画課 課長 中城 英利

農村整備計画課では新規事業の啓発・推進等を行う計画部門と防災重点農業用ため池に関する調査、農業集落排水事業の計画・実施設計、新技術の研究等を行う設計部門があります。

「持続可能で力強く豊かな農業農村」を目指して、職員一丸となって努力して参ります。



●災害対策課 課長 河野 直樹

今年度より新設されました災害対策課職員6名で災害業務に対応して参ります。近年県内での災害は頻繁・激甚化する中、当課では災害実務研修等を継続的に開催し技術者の育成を図ります。また新技術導入による測量設計の効率化を目指して参ります。



●換地課 課長 田部 文敏

このたびの異動により換地課長を拝命しました。換地課では職員、嘱託職員、臨時職員総勢9名体制で県内の換地計画や換地処分登記に関する業務及び業務に係る情報の収集や提供などを行っています。

本年度も職員同士連携を図りながら会員及び関係各位のご要望に沿えるよう努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。



●測量課 課長 大塚 景介

測量課では、みなさんが何でも発言しやすい職場環境を第一に考えます。

また、現場も多く地元地権者との接点も多いことから健康管理も大事となります。

一人一人の個性を尊重し、耳を傾けアンテナをはり業務遂行に務めて参ります。

どうぞよろしくお願い致します。



●中部事務所 所長 馬場 啓四郎

この度の人事異動により、中部事務所長に着任致しました。

中部事務所は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行います。

事務所長は初めてのポジションですが、職員と一致団結して、会員皆様方のご要望に応えられるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



●南部事務所 所長 河野 浩一

南部事務所では、佐伯市・豊後大野市・竹田市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。本年度は、職員10名体制で前述の業務に加え会員支援並びに事業推進に取り組むとともに、会員の皆様方に満足していただけるよう努力して参ります。



●北部事務所 所長 清末 功一

北部事務所は、中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・姫島村・杵築市・日出町・別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。

職員数は、昨年度より1名増員し、総勢10名となりました。

会員の皆様方のご要望に応えられるように職員一同努力して参ります。

令和4年度新規採用職員の紹介



情報管理課 情報管理係 福田 達

社会人経験枠で採用いただきました福田達です。前職では回路設計やプログラミングなど計測機器の研究開発を行ってきました。農業土木に関しては知らなかったことの方が多く諸先輩方に教えてもらわなければなりませんが、これまで培ってきたスキルや経験を活かして一日も早く連合会の戦力となり、地域貢献できるよう職務に励む所存です。どうぞよろしくお願い致します。



災害対策課 調査測量係 林 智光

この度社会人枠として新規採用となりました、林智光と申します。

前職では主任として測量を担当しておりました。特に現場に関してはマルチに対応ができますので、ぜひお声がけください。またプライベートではキャンプをしており、気が向いたら山や川に行き過ごしております。気軽に話しかけていただければ幸いです。1日でも早く仕事を覚えて活躍していきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



事測量課 調査測量係 首藤 宏志

この度、新規採用され事業部測量課に配属されました首藤宏志です。

出身地は竹田市直入町です。幼いころから自然と触れ合いながら育ってきました。社会人枠の採用ではございますが、知識や技術も未熟です。先輩方の力をお借りしながら知識や技術を学び連合会に貢献できるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。



総務課 総務係 中村 貴輝

この度、新規採用されました中村貴輝です。

出身地は、大分市の戸次という大野川と横江山に囲まれた自然豊かな地域です。特産品としてごぼうが有名で、小さい頃から農業や自然にふれてきました。しかし、現在の農業や自然がおかれている状況は変わってきており、少しでも力になっていければと思います。その為にも、日々の業務に真摯に取り組み、先輩方をお手本として頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



換地課 換地係 前田 侑希

この度、新規採用されました前田侑希です。

私は、小学校から現在まで野球をしてきました。野球を通して学んできた礼儀や挨拶、約束や時間を守ることを大切にして仕事に取り組んでいきます。まだまだ未熟者ですが、いち早く仕事を覚え、連合会の一員として頑張りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



農村整備計画課 農村整備係 有永 望叶

この度、新規採用されました有永望叶です。

日田林工の建築土木科を卒業しました。農業土木という分野は初めてですが、高校で学んだ土木の知識や先輩方からの指導をもらいながら成長していきたいと思えます。1日でも早く地域に貢献できるよう、一生懸命日々の業務や資格取得に励んでいきます。また、私は小学校1年生からこれまで野球をしてきました。水土里ネット大分では仕事と野球の両立をし、色々な形で貢献できるように頑張りたいです。まだまだ分からないことばかりですがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



災害対策課 調査測量係 児玉 堅

この度、新規採用されました児玉堅です。

小、中、高と野球を続けてきました。団体で働く中で相手を思いやりワンチームの一員として頑張っています。部活動や学校生活で学んだことを生かして水土里ネットに貢献できるよう頑張っていくのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



中部事務所 調査設計課 調査設計係 吉田 蒼

この度、初級採用者として採用を頂きました吉田蒼と申します。

小学1年生の頃から高校3年まで野球をしてきて培った、礼儀の部分などを大切に、私自身、土木関係のことは分からないことが多いので、先輩方のご指導の下、1日でも早く仕事を覚え、連合会や地域に貢献できるように精進してまいります。宜しくお願い致します。

おつかれさまでした

令和4年3月31日付けで、石井敏常務理事が退任、三代透換地課長が退職されました。長年にわたり連合会の発展並びに大分県の農業農村整備事業の推進にご尽力いただき、誠にありがとうございました。今まで大変お疲れ様でした。



左より 三代透換地課長、義経会長、石井敏常務理事

..... 災害復旧に係る研修の終了



国東市研修生 野上 龍太 さん

令和3年4月より災害復旧技術習得のため当会が派遣受け入れをしていた国東市の野上龍太さんの研修期間が終了し、3月31日義経会長より「災害復旧支援者認定証」が交付

されました。

1年間の研修期間で培った知識と技術を大いに役立ててほしいと思います。野上さんのますますのご活躍を期待しております。

令和3年度 資格取得者

令和3年度資格試験に以下の方が合格されました。おめでとうございます。

土地改良換地士

換地課 増岡 樹信

測量士補

会員支援課 十塚 弘一

測量課 福田 良貴

農業土木技術管理士

災害対策課 板井 正信

西部事務所 赤嶺 孝輔

農村整備計画課 西川 真

1級土木施工管理技士補

中部事務所 安部 俊郎

2級土木施工管理技士補

会員支援課 十塚 弘一

換地課 清家 大志

情報管理課 山田 翔太

情報管理課 片山 愛理

総務課 藤澤 匠真

災害対策課 幡手 貴一

南部事務所 藤縄 愛大

2級土木施工管理技士

北部事務所 塗木 一輝

西部事務所 吉田 聖

農業農村地理情報システム技士

情報管理課 佐々木光治

南部事務所 平野 祐輝

ITパスポート

南部事務所 平野 祐輝

UAV2級操縦士技能

情報管理課 佐々木光治

会計指導員

総務課 首藤 英介

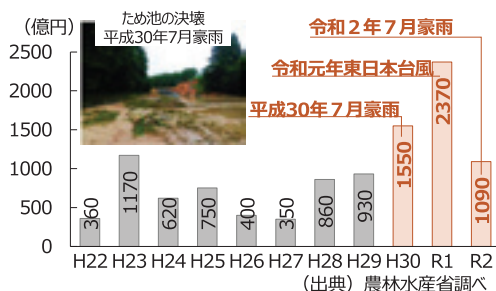
総務課 吉岡 桂介

土地改良法の一部改正について

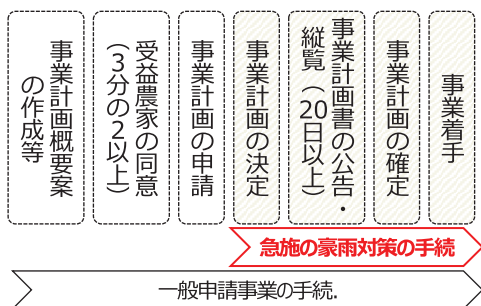
(1) 急施の防災事業の拡充（令和4年4月1日施行）

国又は地方自治体が、農業者の費用負担や同意を求めずに、ため池や排水機場等の豪雨対策を実施できることとする。（現行制度は地震対策のみが対象）

豪雨による農地・農業用施設等の被害額



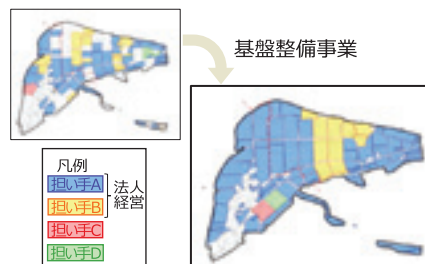
土地改良法の開始手続



(2) 農地中間管理機構関連農地整備事業の拡充（令和4年4月1日施行）

都道府県が、農業者の費用負担や同意を求めずに実施する農地中間管理機構関連農地整備事業の対象に農業用排水施設、農業用道路等を追加する。（現行制度は区画整理及び農用地造成のみが対象）

基盤整備による担い手の農地の集積・集約化



用水路のパイプライン化と農道の拡幅



(3) 土地改良事業団体連合会の業務の見直し（令和4年4月1日施行）

市町村、土地改良区等が、緊急的な防災・減災対策や小規模な基盤整備を機動的かつ円滑に実施できるよう、土地改良事業団体連合会の事業に次の事業を追加する。

- (1) 全国連合会にあっては、直接又は間接の会員が土地改良施設の管理を適正に行うために必要な資金の調達・交付※

※土地改良施設維持管理適正化事業のうち、防災減災機能等強化対策（R4拡充要求）の資金の調達・交付を行うための規定

- (2) 会員から委託を受けて行う土地改良事業の工事

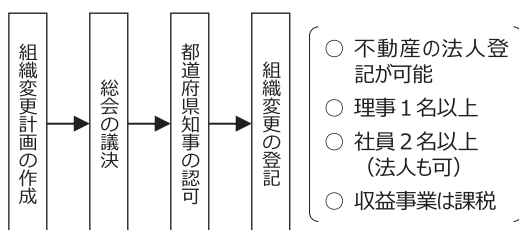


(4) 土地改良区の組織変更制度の創設（施行日は政令で定める日）

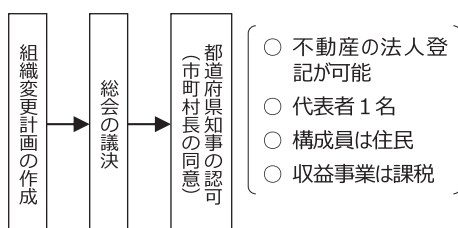
解散を予定している小規模土地改良区が、一定の条件のもと、法人格を維持しながら一般社団法人又は認可地縁団体※に組織変更できることとする。

※地方自治法に規定される地縁に基づいて形成された団体（自治会等）で、市町村の認可・告示を受けることで法人格を取得し、団体名義での不動産登記が可能

一般社団法人への組織変更



認可地縁団体への組織変更





第44回 全国土地改良大会 沖縄大会

令和4年
11月22日(火) 13:00~15:30
沖縄アリーナ

【主催】全国土地改良事業団体連合会・沖縄県土地改良事業団体連合会 【後援】農林水産省・沖縄県・沖縄市

大会スローガンの内容

水土里(土地改良)は、農地や水源を整備して地域や国を豊かにし平和な世の中をつくれます。
 この水土里の素晴らしさを守るの邦、沖縄から発信し、広く世界へ届けよう!!



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号(事務局3F)
TEL097-536-6631 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

